



モニタリングアプローチ

- [クイックプロファイル\(30日間\)のESXホストサマリーの統計情報とデータのダウンロード \(1 ページ\)](#)
- [プロファイラ データ収集のアーキテクチャ \(1 ページ\)](#)
- [プロファイラ VMのクリーンアップの実行 \(2 ページ\)](#)

クイック プロファイル (30 日間) の ESX ホスト サマリーの統計情報とデータのダウンロード

[[プロファイラ ホーム ページ \(Profiler Home page\)](#)] > [[ダウンロード結果 \(Download Results\)](#)] オプションから、クイック プロファイル (30 日間) ESX ホスト サマリー統計/データ レポートをダウンロードできます。このモニタリングオプションを使用するには、ESXiの[ESXiプロファイリングの結果のダウンロード](#)およびHyper-Vの[Hyper-Vプロファイリング結果のダウンロード](#)を参照してください。

レポートの特性:

- VM/ホスト レベルのコンピューティングとストレージ容量のメトリックが含まれます。
- ディープストレージまたは個々のVMのコンピューティングメトリックあるいはメトリックは含まれません。
- データはCSV形式でダウンロードされ、Hxサイジングツールのコンピューティングおよび容量のワークロードにアップロードできます。

プロファイラ データ収集のアーキテクチャ

ESXi プロファイラ データ収集のアーキテクチャの理解

プロファイラは、ルート管理者クレデンシアルを使用して vCenter に接続します。

アーキテクチャの特性:

- プロファイラは、vCenter インベントリ情報(データセンター、データストア、クラスタ、ホスト、VM、および基本メトリック)と、vCenter 自体からのコンピューティングメトリックを直接収集します。
- また、プロファイラは各 VM のディープストレージメトリックを収集し、ホストレベルでこれらのメトリックを集約します。
- vCenter は、ディープストレージメトリックを直接維持しません。プロファイラソフトウェアは、各 VM の詳細データを取得するために、個々のホスト(vSCSIを使用して)からこのデータを取得するためにvCenterを呼び出します。次に、プロファイラはすべてのVMのデータを集約して、ホストレベルのサマリーを作成します。たとえば、ソフトウェアは遅延などのメトリックの最大、最小、および平均値を取得します。これには、IOPS (合計ブロック/間隔) とスループット (合計バイト/間隔) の平均値のみが使用されます。

Hyper-V プロファイラ データ収集のアーキテクチャの理解

プロファイラは、ルート管理者クレデンシャルを使用して Hyper-V に接続します。

Architecture characteristics:

- プロファイラは、Hyper-V インベントリ情報(ホスト、VM、基本メトリックス)と、Hyper-V 自体からのコンピューティングメトリックを直接収集します。
- また、プロファイラは各 VM のディープストレージメトリックを収集し、ホストレベルでこれらのメトリックを集約します。
- Hyper-V は、ディープストレージメトリックを直接維持しません。プロファイラソフトウェアは、各 VM の詳細データを取得するために、個々のホスト(WMICおよびpowershell cmdletsを使用して)からこのデータを取得するためにHyper-Vを呼び出します。次に、プロファイラはすべてのVMのデータを集約して、ホストレベルのサマリーを作成します。たとえば、ソフトウェアは遅延などのメトリックの最大、最小、および平均値を取得します。これには、IOPS (合計ブロック/間隔) とスループット (合計バイト/間隔) の平均値のみが使用されます。

プロファイラ VM のクリーンアップの実行

ESXi プロファイラ VM のクリーンアップの実行

プロファイリングアクティビティが完了したら、プロファイラ VM のクリーンアップを実行するベストプラクティスに従って、プロファイラの完全なシャットダウンと終了を行います。

ステップ 1 次の手順で、プロファイリングされたデータをダウンロードします。

- a) プロファイラアプリケーションを起動します。

- b) ホーム ページからデータ (CSV 形式) をダウンロードします。 [ESXi プロファイリングの結果のダウンロード](#)を参照してください。
- c) 詳細な分析のために CSV を保存します。

ステップ 2 プロファイラ サービスを停止するには、次のコマンドを実行します。

- a) **sudo service hxpmonitor stop**
- b) **sudo service hxpcontroller stop**

ステップ 3 VM をシャットダウンします。

ステップ 4 環境のデータのプロファイリングが不要になった場合は、VM を削除します。

Hyper-V プロファイラ VM のクリーンアップの実行

プロファイリング アクティビティが完了したら、プロファイラ VM のクリーンアップを実行するベストプラクティスに従って、プロファイラの完全なシャットダウンと終了を行います。

ステップ 1 次の手順で、プロファイリングされたデータをダウンロードします。

- a) プロファイラ アプリケーションを起動します。
- b) ホーム ページからデータ (CSV 形式) をダウンロードします。 [Hyper-V プロファイリング結果のダウンロード](#)を参照してください。
- c) 詳細な分析のために CSV を保存します。

ステップ 2 プロファイラ サービスを停止するには、次のコマンドを実行します。

- a) **sudo service hxpmonitor stop。**
- b) **sudo service hxpcontroller stop。**

ステップ 3 VM をシャットダウンします。

ステップ 4 環境のデータのプロファイリングが不要になった場合は、VM を削除します。
